

## 桜葉生い茂る屏風岩公苑

7月18日、宇陀市での会合は正午過ぎに終わった。参加者への挨拶もそこそこに、用意しておいたおにぎりを持って曾爾村の屏風岩公苑へと車を走らせた。

土庫病院友の会ハイキングクラブの例会でこの公苑を訪れたのは4月下旬だった。古木、大木に咲くヤマザクラが柱状節理の大絶壁に明るく映えて、春の山の広がりや高度感とで見る者に元気を与えてくれた。

そして3ヶ月すぎた今、桜は濃緑の塊となって生



コマツナギ(マメ科コマツナギ属)

い茂り、視界を狭めて屏風岩の迫力を削ぐ代わりに、周囲の草木と一体となって生きとし生ける物の勢いを感じさせて余りあった。

草原には道をも覆って草が茂り、その中にコマツナギ、ウツボグサ、ドクダミなどの花が点在し、森との境、崖の手前にはタケニグサが人間の侵入を阻むが如くに群れて咲き誇っていた。

生命のエネルギーを強く印象づけたのは、公苑の傍らに咲いていたツチアケビの一群であった。

下ツチアケビ



ウツボグサ(シソ科)

群と言うより塊と書いた方がいいように思われる。この葉緑素を持たないランの仲間はいましばしば固まって生えるが、これほど多くの株がもつれ合うように固まって花をつけているのは初めてだ。

ツチアケビは同じラン科のショウキランやイチヤクソウ科のギンリョウソウなどと共に「腐生植物」とよばれ、土中の菌類に栄養を依存している。そして菌類はおそらく他の植物(葉緑素を持ち、光合成で栄養を作り出す)から栄養をうけとり、その一部を腐生植物に渡していると考えられている。

ということは、菌類を介して植物同士が地





下で繋がっていることになる。

この土中のワンダーネットワークの研究、今後どう  
いう進展を示すのだろうか、興味は尽きない。

左の写真は、前ページ写真の花の部分拡大した  
もの。

## 安全で楽しい山登りを 土庫病院友の会ハイキングクラブの講座

(労山県連ニュース掲載分を転載、その際修正した)

昨年の大雪山系での悲しい遭難事故以来、登山者の  
教育・研修の大切さが話題になっています。この点で  
大和高田市にある医療法人健生会の土庫（どんご）病  
院ハイキングクラブが今年になって「ハイキング講座」  
を連続して開催し好評です。「講座」の中心テーマは  
「安全で楽しい登山」ですが、会員さんの要求・要望  
に応じてのテーマも取りあげています。

今まで開催した講座は次の通りです。

**第一回 1月16日(土)「ハイキングの基礎」**

講師 門田正博さん 受講者 36名

**第二回 3月13日(土)「山での写真の撮り方」**

講師 早津忠保さん 受講者 35名

**第三回 5月15日(土)「地質から見た近畿の山々」**

講師 尾上謙介さん 受講者 28名。

次回からの予定

**第四回 9月18日(土)「山登りと腰痛・膝通問題」**

講師 峯隆子さん

講師は自らも登山を楽しむ整形外科医。多くの  
登山者が悩む膝痛・腰痛問題の原因、登山での留  
意点・対策、日常の治療とケアなど語ります。

会場は大和高田市日之出町2-12 健生荘多目的室。

時間は14時～16時 参加費 300円(会員 200円)

定員あり 申し込みは健生会友の会事務局まで

(電話・FAX 0745-22-2989)

**第五回 10月下旬「救急対応①」**

**第六回 日時未定「救急対応②」**

この他、「奈良県の植物」、「奈良県の山の魅力」などの  
テーマも検討中です。

以上



オトギリソウ (二上山で)



ケアクシバ (二上山で)



ハンゲショウ (ドクダミ科・二上山)